



春江中だより

【は】っけん・気付く つなが【る】 【え】がおを創り出す



春江中学校教育目標

- 自ら進んでよく学び、協力して働く生徒
- 規律を守り、責任を重んずる生徒
- 心身ともに健康で、思いやりのある生徒

自ら進んでよく学ぶ生徒の育成を目指して

副校長 鈴木 巧

本校の課題の一つに学力向上、学力定着があります。文部科学省では、子どもたちに求められる学力を「確かな学力」と定義しています。未曾有の激しい変化が予想されるこれからの社会において、生徒は困難な状況を乗り越えるために生涯に渡って学び続けていかなければなりません。本校では、その力を中学校生活で身につけていくことを重要視しています。そのために学校は、分かりやすい授業を展開し生徒の学習意欲を高めていくことが大切です。社会を切り拓くためには日々学習することに加え、自分で課題を見つけたり、探しに行ったりすることで学びは深まってきます。しかしまだ中学生ですから、スキルや経験も少なく、視野も狭く知らないことも多いので、自分で課題を見つけることは難しいことです。さらにゲーム、スマホなどの誘惑に打ち勝てる強さも備わっていません。そこで本校では以下の取組を通して生徒の課題発見を促しています。

取組1：江戸川区教育課題実践推進校として学力向上について研究

未来を主体的に生き抜くために自ら進んで学ぶ生徒の育成を目指して研究を進めています。目に見える結果はまだ出ていませんが、実践して生徒同士の対話を促す授業の重要性を再認識しています。

取組2：フォーサイト手帳の導入

本年度から自己管理手帳を目的にしてフォーサイト手帳を導入しました。生徒は忙しく毎日を過ごしている中で、タスクや目標を掲げても実現できずに終わってしまうこともあります。その問題を解決するために手帳を活用して、生徒自身を少しでも良い方向へ改善し、目標達成に近づけるように指導しています。手帳の効果は、目標が「見える化」され意識づけされます。自分の目標やタスクを手帳に書き込

むことで、達成していく喜び、充実があります。手帳を見返すことで自分の行動を客観的に振り返る機会を作り日々の生活を充実させるようにします。

取組3：単元テストの実施

本校は中間テストを廃止し、各教科で単元テストを実施しています。単元テストの目的は、日々の授業で学んだ内容が自分の中に定着しているかどうか、教員もそれを把握し次回からの授業へ活かしていきます。その回数が多ければ生徒は実感をもてると思います。単元テストはその単元で、自分の学力がどれだけ定着しているかを図るものです。評価評定に反映されます。これからは、誰かにやらされる学習や勉強ではなく、自分で決めて学習することが問われる時代になってきます。自身で課題を見つけ、必要なことだけ勉強をする。必要がないところや習得しているところは学習をしない等を自分で判断して、実践していく力はこれから大切になってきます。以下は実施した回数です（1.2学期合計）

	国語	社会	数学	理科	英語
1年	11回	7回	4回	6回	12回
2年	23回	1回	5回	8回	6回
3年	11回	3回	5回	8回	13回

「学校評価アンケートの調査」への回答ありがとうございました。様々なご意見をいただきました。厳しいご意見もありましたが、そうやっていただいたご意見を参考にして、生徒が良い方向へ導く効果的な取組を進めていきます。春江中学校の生徒なら、今はうまくいかないことがあっても、日々の取組を継続し、努力を積み重ねていくことで、必ずその先に迎える課題や困難を切り拓く力を身につけられると思います。本校では、これから迎える雇用の多様化や社会の変化に対応できる力を身につけ、活力ある21世紀を支えていける生徒を育成していきます。